

(別紙2)

平成29年度上期「米子市都市公園」モニタリング評価表 [平成30年1月]

施設名	米子市都市公園	
施設所管課	建設部 維持管理課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡 954-1
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市都市公園は、主に緑豊かな自然環境の中で、休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等のレクリエーション及び大震災等の災害時の避難等に供することを目的としている。	
主な実施事業	米子市都市公園の維持管理、公園パンフレット作成配布、米子つつじ祭協賛、公園内祭開催時の巡視、AEDの設置、子供対象に風船無料配布	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づいた管理体制で行っており報告書で人員配置を確認できる。 ・緊急時の体制、危機管理マニュアルが作成されている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	C	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づくと上期は実施不足となったが、下期に補足する。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・自主事業として、公園内イベント開催時の防犯パトロール実施、弓ヶ浜公園での子供を対象に風船配り、つつじ祭での苗木無料提供等、利用者・利用者に対するサービス向上策を実施しており、自ら施設の利用促進に努めている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	都市公園行為許可申請、行政財産使用許可等確認。 ・前年度の同時期と比べ利用者が微増している。

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	毎月度都市公園報告書確認。 ・自治会・利用者等からの要望について迅速に対応できている。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき概ね実施されている。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき適切に実施されている。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき概ね実施されている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき実施され、巡視・点検等で施設の破損等を発見した際は、速やかに修繕等の対応を行っている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	A	事業計画書確認。 ・情報公開、個人情報に関するマニュアルが作成されており、適切に実施されている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき巡視等を行い、施設の現状を認識し、今後の在り方についての提案が具体化されている。 ・施設の修繕が必要な箇所は自主事業により修繕を行い、また、改善を行う場合は書面を提出し協議を行っている。
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	利用者アンケート結果、事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・利用者に対するサービスの向上及び利用促進を図るため自主事業を計画・実施されている。またアンケート結果においても比較的良好な評価を得ている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・事業計画書に基づき日常の清掃・衛生管理等の管理業務が実施されており、苦情がなかった。

3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	利用者アンケート結果、毎月度都市公園報告書確認。 ・利用許可を行っている利用者への接客・対応を適切に行っている。またアンケート結果においても比較的良い評価を得ている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・公園パンフレット作成配布、公園内で開催されるイベント等への協賛等の自主事業を計画どおりに行っており、利用者に対するサービス向上策が概ね図られている。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	事業計画書、毎月度都市公園報告書確認。 ・日常生活の憩いの場として公園を利用できるよう日々運営管理を行っている。

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	提出資料確認。 ・過不足なく適切に執行されている。
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	提出資料確認。 ・利用者当たりコストが増加しているが、概ね良好な経営状況である。
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	—	

<p>【総評（所管課評価）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に適切な施設管理方針が示され、適正な管理体制及び業務計画に基づき運営管理が行われている。 ・施設利用者からの通報・要望に速やかに対応し、自らも巡視点検結果等を元に適切に処置する等適正な管理業務が行われている。 ・担当課と連絡調整を綿密に図っており業務上の差支えはない。また、公園利用者アンケート結果において施設利用者から比較的良い評価を得ている。 ・自主事業では、公園パンフレットの作成配布を行い公園施設のPRに努め、公園内で開催されるイベント等への協賛や子供対象に風船無料配布を行う等、公園施設の利用促進に寄与しており、上期は前年度の同時期に比べ施設利用者が比較的に増加している。今後も継続して努められたい。 	<p>合計点 (67) 点 / (95) 点 × 100 = (70)</p> <p>平均点 (3.6) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成29年4 ～9月〕 A	前年度〔平成28年4 ～7月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	—	—	— (%)	
施設利用者数	69,294人	50,887人	18,407,136 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。
施設稼働率	—	—	— (%)	
事業開催数	187件	148件	39,126 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成29年4 ～9月〕 A	前年度〔平成28年4 ～7月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	—	—	— (%)	
指定管理料	62,000,000	43,907,160	18,092,840,141 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。
合計	62,000,000	43,907,160		

(2) 支出

項目	本年度〔平成29年4 ～9月〕 A	前年度〔平成28年4 ～7月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	33,923,828	25,411,807	8,512,021,133 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。
需用費	4,840,409	2,362,598	2,477,811,205 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。
消耗品費	1,054,914	1,007,921	46,993,105 (%)	
燃料費	1,009,858	754,481	255,377,134 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。
修繕費	2,775,637	600,196	2,175,441,462 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。
役務費	2,005,156	1,336,417	668,739,150 (%)	指定管理業務休止（前年度8～9月）は控除し対比しているため。

通信運搬費	223,056	170,057	52,999,131(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
手数料	1,764,380	1,120,080	644,300,158(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
保険料	17,720	46,280	△28,560、38(%)	指定管理業務休止に伴う(財)米子市生活環境公社への移行に際し、一度解約手続きで清算しているため。
委託料	1,947,434	940,673	1,006,761,207(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
使用料及び賃借料	197,932	147,687	50,245,134(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
原材料費	149,839	63,789	86,050,235(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
備品購入費	80,000	196,074	△116,074、41(%)	指定管理業務休止に伴う(財)米子市生活環境公社への移行に際し、必要備品を購入しているため。
負担金及び交付金	515,153	478,278	36,875,108(%)	
公課費	33,300	40,600	△7,300、82(%)	
研修費	114,464	20,262	94,202,565(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
雑費	372,435	277,481	94,954,134(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
諸経費	14,101,338	10,482,422	3,618,916,135(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
光熱水費	3,718,712	2,149,072	1,569,640,173(%)	指定管理業務休止(前年度8~9月)は控除し対比しているため。
合計	62,000,000	43,907,160		

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成29年4~9月〕 A	前年度〔平成28年4~7月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	0	0	0、0(%)	
② 利用料金比率	—	—	—	利用料金制なし。
③ 人件費比率	0.547	0.578	△0.031、95(%)	

④外部委託費比率	0.031	0.021	0.010、	148(%)	委託費の増。
⑤利用者当たり管理コスト	895	862	33、	104(%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	895	862	33、	104(%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていっているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減られすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	備考
①自己資本比率	39.6%	37.8%	41.3%	48.8%	82.1%	
②流動比率	164.9%	149.2%	178.0%	219.0%	489.5%	
③固定長期適合率	48.3%	50.7%	40.8%	51.9%	45.6%	
④総資産経常利益率	1.4%	0.3%	8.8%	8.8%	0.2%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資

産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（\%）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（\%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
預金 120,621,643	工事未払金 22,662,097
工事未収入金 7,270,580	未払金 360,358
未成工事支出金 607,230	未払消費税 3,110,500
短期貸付金 2,973,004	未払法人税等 646,200
仮払金 110,000	預り金 444,171
前払費用 20,535	流動負債合計 27,223,326
未収入金 1,717,381	固定負債
貸倒引当金 △70,000	長期借入金 12,500,000
流動資産合計 133,250,373	負債合計 39,723,326
固定資産	
建物 20,041,363	
建物付属設備 1,000,991	【純資産の部】
構築物 934,811	株主資本
機械装置 2,871,215	資本金 36,500,000
車両運搬具 4,423,264	利益剰余金 146,109,809
工具器具備品 2,637,329	株主資本合計 182,609,809
土地 54,742,851	純資産合計 182,609,809
電話加入権 569,318	
差入保証金 50,000	
保険積立金 1,031,592	
長期前払費用 421,239	
預託金 239,500	
固定資産合計 88,963,473	
繰延資産	
繰延資産 119,289	
資産合計 222,333,135	負債・純資産合計 222,333,135

■損益計算書

完成工事高	
完成工事高	350,203,771
兼業事業売上	1,203,000
自販機売上	1,472,218
派遣業務売上	9,624,083
完成工事原価	
兼業事業原価	932,373
完成工事原価	318,887,347
完成工事総利益	42,683,352
販売費及び一般管理費	41,217,459
営業利益金額	1,465,893
営業外収益	
受取利息	31,769
雑収入	1,799,438
営業外費用	
支払利息	522,745
為替差損	165,145
繰延資産償却	21,511
支払保証料	102,734
雑損失	1,998,268
経常利益	486,697
特別利益	
固定資産売却益	1,388,883
貸倒引当金戻入益	470,000
特別損失	
除却損	21,572
退職金	328,000
貸倒引当金繰入額	70,000
税引前当期純利益	1,926,008
法人税・住民税等	767,253
当期純利益	1,158,755

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

利用者からの苦情は無く、上期に多く寄せられる自治会等からの除草・剪定等の要望に速やかに対応しており、市が指導を行うことはなかった。

6 利用者アンケートの結果

(期間：平成29年4月1日～平成29年9月30日)

上期のアンケート調査では、合計56枚の回答があった。性別では女性の回答が約7割を占め、年齢は20歳未満の学生が特に多かった。主に利用する公園は弓ヶ浜公園、湊山公園の大型公園が特に多く、主に利用する施設は修景施設(芝生広場)、休養施設(休憩所)、遊戯施設(各種遊具)等が多い結果であったため、若年層を中心に遊戯やレクリエーションを目的に仲間との交流の場として多く利用されていると考察できる。

施設運営、施設設備に関しては、満足寄りの回答が多く、また、施設の総合的な印象も好感度の回答が多く、適切な管理運営がされていると判断できる結果であった。ただし、少数であるが、不満足寄りの回答もあるので、更なる施設の利用促進に向けて改善に努められたい。